

次世代航空燃料SAF製造事業の取組み・今後の展開について

2025.03.14

コスモ石油株式会社

次世代プロジェクト推進部

プロジェクト推進グループ長

山本 哲

1. 国内外のSAF動向について

1

- ✓ 23年5月/24年6月SAF官民協議会*₁ にて**石油元売のSAF供給義務化方針**打出し
- ✓ 23年12月に**SAF政策支援予算案**が閣議決定（24年3月予算成立）

16年10月：ICAO*₂ 総会にて目標採択

→国際航空セクターCO₂排出量を20年比で増加させない

22年4月：SAF議連*₃ やSAF官民協議会にて議論活発化

→国交省が「**30年にJET燃料使用量の10%をSAF置換目標**」公表

22年10月：ICAO総会にて新目標採択

→①国際航空セクターCO₂排出量を19年比15%削減

②50年CN

23年5月：30年に**SAF10%供給義務化方針**打出し（SAF官民協議会）

23年12月：GX経済移行債を原資とする**SAF政策支援予算案**が閣議決定

→①大規模SAF装置への設備投資支援（補助率1/3~1/2）

②SAF1Lあたり最大30円税控除

24年6月：30年に**GHG5%削減相当のSAF供給義務化方針**打出し（SAF官民協議会）

<当社SAFイベント>

21年1月

廃食用油SAF検討開始

22年7月

・30年30万KL目標公表

・バイオエタノールSAF検討開始

22年11月

廃食用油SAF事業化決定

 **SAFAIRE SKY ENERGY** 設立

23年5月

廃食用油SAF起工式@堺製油所



（経産副大臣、堺市長らご来賓）

*1) SAF官民協議会：持続可能な航空燃料の導入促進に向けた官民協議会（22/4発足）

*2) ICAO：国際民間航空機関（International Civil Aviation Organization）

*3) SAF議連：持続可能な国産燃料を考える会（21/8発足）

2. 当社SAF取組み

2

当社は**2030年に年間30万KL**のSAF供給を目標として取組んでいます

① 廃食用油原料のSAF事業(HEFA)【3万KL/年】

- ・ 2022年11月サファイアスカイエナジー設立
- ・ 2024年度内 装置完工 / 運転開始予定 *量産化 国内第1号案件

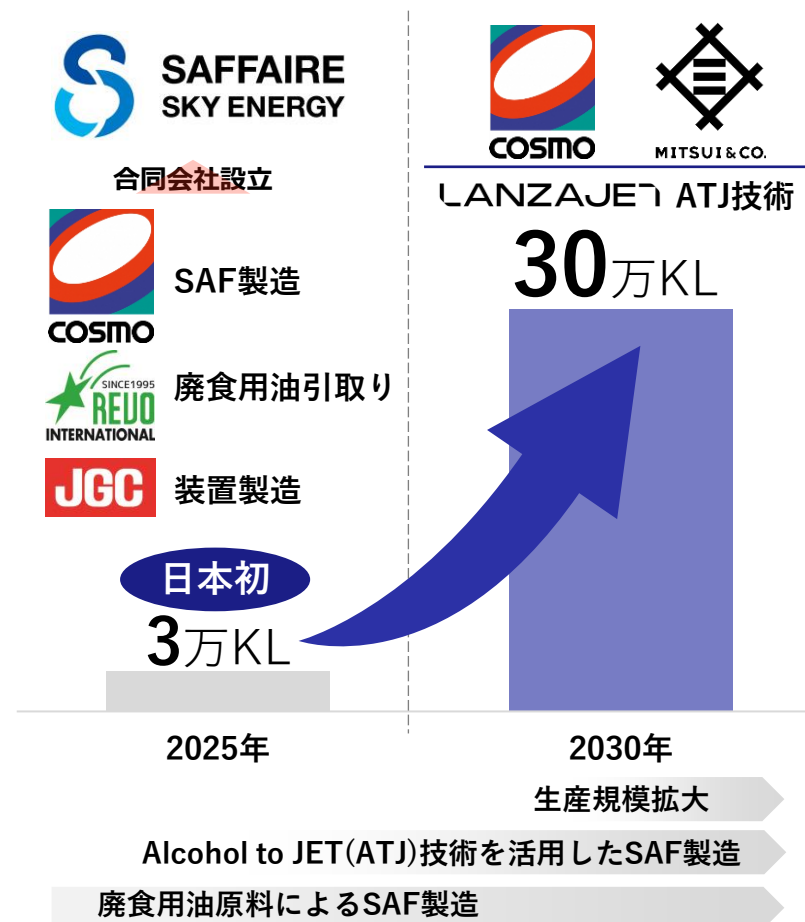
② バイオエタノール原料のSAF事業(ATJ)【15万KL/年】

- ・ 2022年7月三井物産様と共同でFS検討開始
- ・ 2025年2月经産省様によるSAF支援事業*に採択
- ・ 2029年以降にSAF製造装置完工 / 運転開始を目指す

*正式名称：持続可能な航空燃料（SAF）の製造・供給体制構築支援事業

③ 更なるSAF供給に向けた輸入検討【+α】

- ・ 2023年12月、タイ Bangchak社とSAF輸入のフレーム合意書締結、条件面協議中



3. 廃食用油原料のSAF事業（サプライチェーン概要）

3

以下2点において、本事業は**国内初のSAF製造事業**となります
①国内初の**SAF量産化**（年間約3万KL） ②国内初の**CEF認証***取得

*CEF認証：CORSA Eligible Fuel（CORSA適格燃料）の略で、ICAO（国際民間航空機関）が定めるGHG削減基準等を満たした航空燃料



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業

3. 廃食用油原料のSAF事業（足元の進捗）

4

- ✓ 2024年12月に装置完工し、3月6日に竣工式・祝賀会を開催しました
- ✓ 今春の本格生産開始に向け、現在試運転を実施しております

◆竣工式テープカット（堺製油所構内 SAF製造設備前にて）



↑ 左から日揮(株)雨宮常務, NEDO飯村理事, 経済産業省 永井課長, SAFFAIRE SKY ENERGY 秋鹿代表, 日揮ホールディングス(株)佐藤会長, コスモエネルギーホールディングス(株)山田社長, (株)レボ インターナショナル越川社長, コスモ石油(株)鈴木社長, 国土交通省 秋田部長, 堺市 永藤市長, コスモ石油マーケティング(株)森山社長

↓ 竣工式 記念撮影



↓ 祝賀会 記念撮影（ホテル アゴーラリージェンシー大阪堺にて）





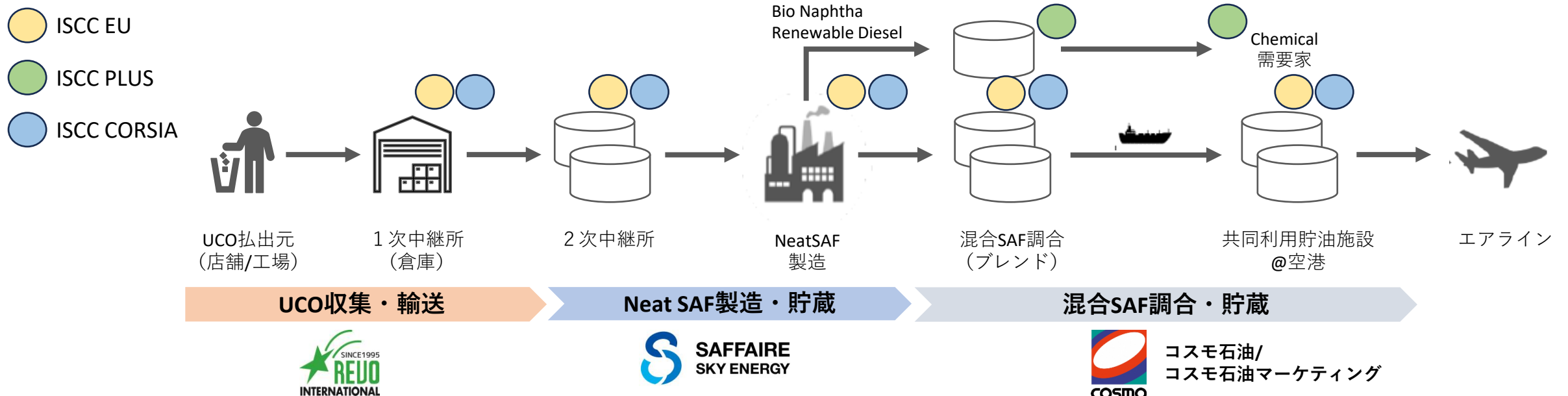
3. 廃食用油原料のSAF事業（国際認証取得）

6

- ✓ 2024年11月、各サプライチェーンにてISCC CORSIA/EU認証取得
- ✓ 原料調達→製造→需要家まで**全サプライチェーンでの取得は国内初**

<取得した認証概要>

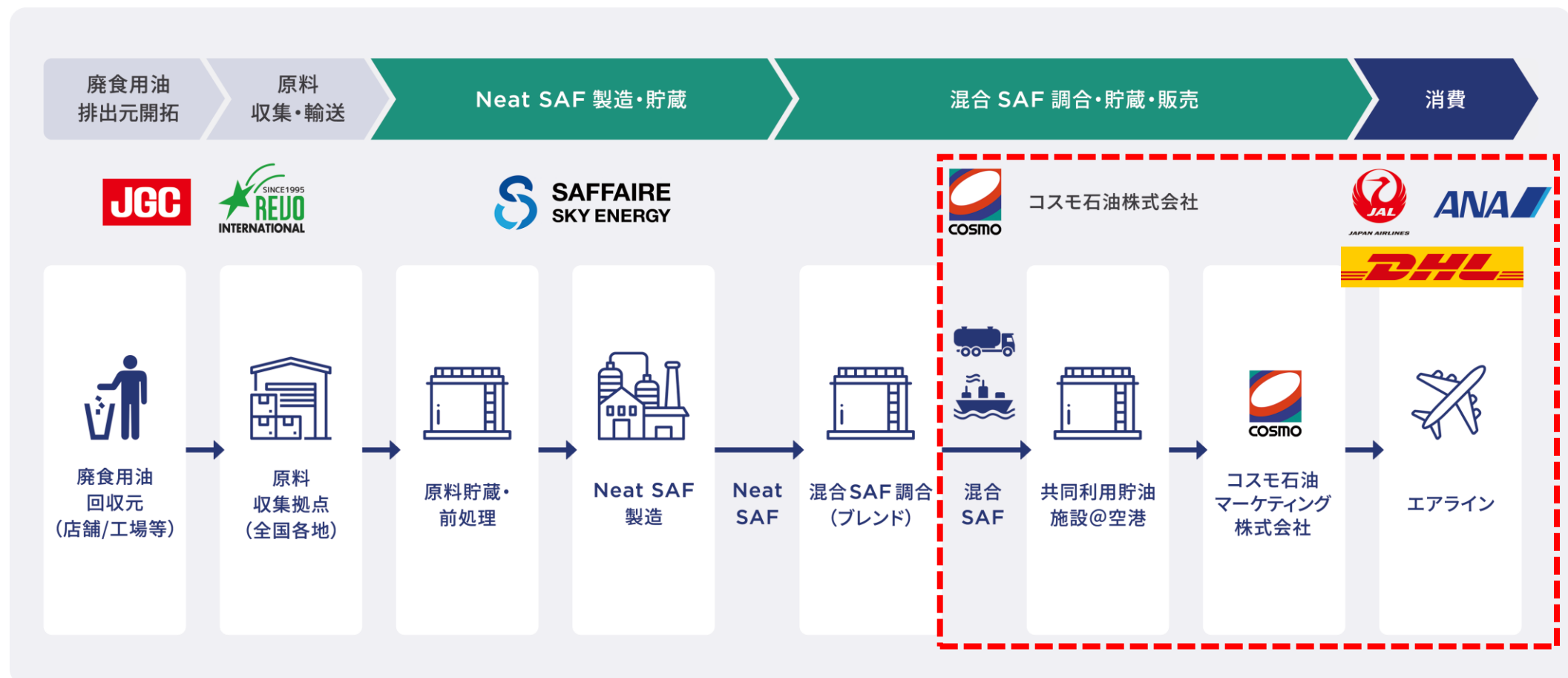
ISCC認証取得会社/認証サイト	認証	認証製品	認証スコープ
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY/堺工場	ISCC EU、ISCC CORSIA	HEFA(SPK)、Bionaphtha	プロセッシングユニット
コスモ石油株式会社/本社	ISCC EU、ISCC CORSIA、ISCC PLUS	—	トレーダー／ストレージ
コスモ石油マーケティング株式会社/東京オフィス	ISCC EU、ISCC CORSIA	—	トレーダー



3. 廃食用油原料のSAF事業（エアライン様へのSAF販売）

7

- ✓ 2025年度より、本事業のSAFを国内エアライン（日本航空様、全日本空輸様）および海外エアライン（DHL Express様）へ供給します
- ✓ これにより、**日本初となる国産SAFサプライチェーンの構築が実現します**



3. 廃食用油原料のSAF事業（原料回収アプローチ）

8

事業最大の課題である廃食用油収集につき、**事業系・家庭系排出の双方**からアプローチ

事業系

- ・ **SAFFAIRE SKY ENERGY** への原料供給を大手排出元企業様との基本合意書締結を展開中です
→締結先企業：FOOD & LIFE COMPANIES様(スシロー等)/東京メトロ様(めとろ庵)/トリドール様(丸亀製麺等) 他多数

家庭系

- ・ **2024年3月より東京都主催イベント「東京 油で空飛ぶ大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」**を展開中です
→同年6月より都内の当社系列サービスステーション(SS)にて**市民回収実証開始**
- ・ **2024年11月に堺市、2025年3月に吹田市との廃食用油資源化に向けた連携協定を締結しました**
→当社系列サービスステーション(ガソリンスタンド)を活用した**市民回収を計画**中

都内SSにおける廃食用油の市民回収実証（2024年6月～）



(←)セルフ&カーアステーション光が丘(練馬区)
(↑)廃食用油回収ボックス設置イメージ

堺市連携協定式での記念撮影（2024年11月）



具体取組として堺市内SSでの市民回収を計画！

(↑)左から 国際越川代表取締役CEO、コスモ石油春井取締役常務執行役員(堺製油所長)、永藤堺市長、日揮ホールディングス秋鹿専務執行役員

日の丸SAFが持続可能な事業となるよう、原料調達ネットワークの強化やコスト競争力の強化といった重要課題には引き続き官民連携で取り組みながら、着実にプロジェクトを遂行いたします

SAF注目度の高まりから今般多くのメディアに取り上げられています



